

平成24年度

おおだ農援塾受講生募集

大田市では、農業に関心があり、農業の担い手として地域の農業生産に参加したいと考えている方を対象に、農業に関する基礎知識の習得及び生産現場での実習を行って、人材を養成する講座を開設しています。

U・Iターンの人、定年退職後に農業に取り組みたいと考えている人、これまで農業に関わりのなかった人も歓迎します。

○農援塾はこんな塾です

項目	内容
対象者	農業に関心があり、講座終了後、大田市内で農産物の生産・販売（直売所等への販売も含む）や農作業の手伝いをしたい方で、年間を通じて講座に出席できる方。
講師	島根県西部農林振興センター県央事務所農業普及部大田支所農業普及員、石見銀山農業協同組合営農推進資材課営農指導員、関係生産部会農家等。
受講料	10,000円

○こんな内容の講座があります

講座名	内容	講座予定	定員
産直やさいづくり講座	実習用の畑を区分けして、講座が指定する野菜を中心に、指導を受けながら、年間を通じて受講生自ら栽培を行います。収穫した野菜はぎんざん市場などの直売所に販売します。	20回	15名
柿づくり講座	実習用に、受講生一人1本ずつの柿樹を借り受けて、収穫するまでの間、剪定や摘果など栽培管理を行います。収穫した柿は箱詰めして脱渋します。	12回	5名

○申し込み方法等は

○申し込み先 **大田市農業担い手支援センター**

大田市大田町大田口1111 大田市役所産業振興部内

(電話) 0854-84-7330 (FAX) 0854-82-9731

○申し込み期限 **平成24年2月29日(水)**

○申し込み方法 **「受講申込書」に必要事項を記入**のうえ、上記担い手支援センターまでご提出下さい。(ファックスでの申し込み可)

○面接の実施 **事前に応募者との面接を行い、受講者を決定**します。面接の日時、場所について各応募者に通知します。

おおだ農援塾産直やさいづくり講座

自分でやさいを作って、産地直接販売活動に参加しましょう。

1. 産直について

少ない面積のやさい畑でも、ていねいな管理をすれば、販売出来るだけのやさいは作れます。産直では、自分でつくったやさいを袋詰して、自分で値段をつけて店に並べます。しばらくしてから店を覗いて、自分の品物が売れているのを見るのはうれしいものです。

2. 産直の店について

大田市にはJA関係で、「JAグリーンおおだ」（長久町）、「すいせんの里」（温泉津町）、道の駅ロード銀山内に「ぎんざん市場」（久手町）があります。また、希望すれば阪急オアシス店（兵庫県尼崎市）にも出荷できます。

3. 講座で作る品目について

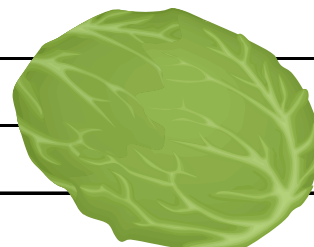
春まきやさい：なす、カボチャ、キャベツで6月から9月までの収穫です。

夏まきやさい：大根、水菜、ジャガイモで、10月から1月までの収穫です。

選択品目：要望のある品目につきましては、作り方を指導します。

4. 講座の内容について

時 期	内 容
4月中	やさいの栽培管理について、苗づくり
4月下	春まきやさい畑の準備（肥料散布、畝立て、ビニールマルチ張り）
5月中	やさい苗の定植
5月下～6月	生育状況にあわせた追肥、防除の実施
6月中	産直店舗や集出荷施設の視察
6月下～7月上	春まきやさいの収穫、および産直出荷
8月下	春まきやさいの反省会
9月上	夏まきやさい畑の準備（肥料散布、畝立て、ビニールマルチ張り）
9月下	やさい苗の定植
10月上	生育状況にあわせた追肥、防除の実施
10月中～11月上	夏まきやさいの収穫、および産直出荷
12月上	堆肥づくり
2月下	土づくりの実習
3月上	夏まきやさいの反省会



○講義はJA本所で行い、実習は久利町の実習圃場で行います。

○募集対象はJA石見銀山の産直会員となって野菜を栽培し、大田市内の直売所等への販売を目指す方

○種子代および苗代は受講者の負担とさせていただきますが、販売代金等は受講者に配分します。

おおだ農援塾柿づくり講座

定年後の第2の人生、柿づくりを考えてみませんか。

1. 西条柿栽培はここに注目

大田市では、従来より西条柿の生産が行われており、生産組合の活動やJAの対応により販売の体制が整っています。栽培経費などの初期投資が少なく取り組みやすいうえ、市内では条件が合えばすぐ収穫できる柿園の斡旋も行います。柿は通勤農業（30分は楽勝）が可能です。

2. 4年目から収穫、7年目でピークに到達

年次別収量変化 10a（1000㎡）当

植え付け後の年数（年）	1	2	3	4	5	6	7	8	9
収穫量（kg）	0	0	0	100	500	1,000	1,500	1,500	1,500

1年目：植え付けです。 2～3年目：誘引を行って樹の形をつくります。草刈は年3回程度、剪定、施肥を行います。4年目以降：年々収量が増加します。年7から8回の防除や、蕾や果実を間引く作業が加わり、少し忙しくなります。

3. 収益性を見てみましょう

10a（1000㎡）を栽培した場合、年間労働時間250時間程で、見込まれる所得は30万円です。よく出来れば単純に時給1,200円ということになります。

4. 就農にあたって

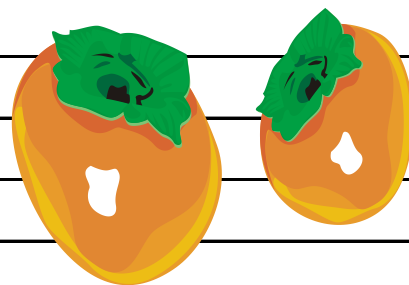
ステップ1：柿づくりを体験してみる。→農援塾柿づくり講座で！

ステップ2：農地（柿園）を探す。→農地は生産組合やJA、市でも探します。

ステップ3：栽培を開始する。→栽培技術等の相談は、生産組合や県、JAで支援します。

5. 講座の内容について

時期	内容
4月上	柿栽培の一年
4月下	病虫害防除 摘蕾、摘果について
5月	摘蕾実習
6月上	病虫害防除、防除実習
6月下	摘果実習
7月	新梢管理について、新梢管理及び摘果実習
8月	病虫害防除について、病虫害防除実習
9月	収穫方法、選果基準、脱渋方法
10～11月	収穫実習
12月	剪定について、施肥及び剪定実習



○講義は大田市長久町稲用にある農事組合法人事務所、実習も同じく稲用地内の柿園で行います。
○募集対象は管理者の居ない柿園の継承や、柿植栽を希望する方、農家の管理作業手伝いを希望する方。
○出荷調整資材費は受講者の負担とさせていただきますが、収穫物は受講者に配分します。